

9月28日 長者町（長者町老人憩の家にて）

<主なやりとりと対応状況>

* 対応状況は⇒です。

【町役場の建替えについて】

- 新庁舎の整備には賛成である。冬場にダウンジャケットを着込んで仕事をする職員を見ていると気の毒に思うし、我々来庁者も寒い。職員の快適な環境を整備してほしい。
⇒ 町役場の執務室や庁舎内が寒いということについては、担当課に改善を指示しました。

【町内の課題など】

- 人口減少対策としては、転入者を受け入れる体制が重要であるとする。転入してくる方は自治会に加入する方が少ない。その地域に溶け込み、安心して暮らせる環境づくりを、町と自治会が協力して考えることはできないか。
⇒ 子ども会がなくなった自治会もあり、自治会への加入者が減少していることは、町の課題でもあります。転入されてくる方に地域との関わりを持っていただくことが大切であると思っています。本町の自治会加入率は70%程度であり、県内では三浦市が90%を超えていると聞いています。町においてもパンフレットを配布するなど、自治会への加入促進に取り組んでいます。今後も転入される方への働きかけを進めていきます。
- 町からも、もっと転入されてくる方にPRしてほしい。自治会に加入しなくても、自治会のイベントなどに参加してもらいたい。
⇒ 地域のお祭りなどへの参加については、町においても広報などで積極的にPRしています。5月の町ぐるみ美化キャンペーンにおいては、小中学生の参加を動画で呼びかけています。これからも1月の左義長をはじめ地域の行事のPRに努めます。
- 本町には、海や自然、歴史といった他の自治体にはない魅力があるにも関わらず、人口は減少しつつある。横浜市や藤沢市などの人口が増えている要因は何か。
⇒ 都内に近いといった利便性が好まれていると考えており、その点が本町のウィークポイントであると思っています。

○ 町内の商店が減ってきている。観光客が本町を訪れても、飲食する場所が少なく、ごみを落としていくだけであると感じている。大磯港にはオオイソコネクトがあるが、売られている商品の値段は比較的高く、3,000円以上の買上げがないと駐車料金が無料にならず、集客につながっているのか疑問である。

⇒ オオイソコネクトには、鮮魚を中心とした本町の地場産品をもっと販売してほしいと思っています。駐車場の料金は本町の収入となるので、全て無料にすることは難しいですが、大磯港で多くのイベントを開催することで駐車場の料金収入を増やし、その収入を財源として行政サービスの向上につなげていきたいと考えています。

この他にも、ふるさと納税による本町の収入を増やす取組みを進めています。ふるさと納税により町の収入を増やすことはもちろんですが、ふるさと納税の返礼品に町内店舗の商品を取り扱うことで、町内店舗の活性化にもつながりますので、町内の店舗には、ふるさと納税の返礼品の登録を呼びかけています。

○ 飲食店や土産店を誘致することで、人口を増やすことができるのではないかと。

⇒ 飲食店などを政策的に増やしていくことは難しいので、ふるさと納税の返礼品を登録していただくことで、売上げを伸ばし元気になっていただきたいと思います。大磯プリンスホテルの宿泊券や大磯駅前の大磯迎賓館の食事券を返礼品にすることで、本町に足を運んでいただく仕組みも整えています。

○ 最近増えてきている空き家を活用した店舗の誘致や移住の政策が必要ではないかと。

⇒ 令和6年度から令和7年度にかけて、改めて空き家の所有者に通知を送り、空き家バンクに登録していただくことを考えています。国府地区はそうでもありませんが、大磯地区では住む場所が少ない状況ですので、今後は空き家をうまく活用することで、人口減少対策につなげていきたいと考えています。

○ もっと町や地区が行っている事業をPRしていかないと、町民に興味を持ってもらえないのではないかと。

⇒ これは、多くの自治会でも話題となっていることです。ホームページや様々なツールにより町民へ積極的に情報発信していきます。

○ 大磯港にクルージング船が入港できるようになったので、そこを活用した事業なども考えてはどうか。

⇒ 大磯港に賑わいをもたらすことになると思いますので、クルーズ船の周遊事業など収益事業を考えていきます。

- 本町に「来てよかった」、「住んでよかった」と思えるような政策が必要ではないか。
⇒ 本町には魅力のある資源が多くありますので、それらを生かした政策を考えていきます。
- 地域を盛り上げていくことが必要であり、転入者がその中に溶け込んでいくことが課題であることは分かっているが、その方法が分からない。他の自治体も同様の課題を抱えていると思うので、何か良い事例があれば紹介してほしい。
⇒ 他の自治体では移住者のコミュニティ作りを進めている事例もありますので、検討してみます。
- こどもが認定こども園あおばとに通っており感謝しているが、働く保育士の処遇改善に力を入れてほしい。保育士の処遇が改善されれば、こどもたちに対しても、これまで以上の対応が期待できると思う。
⇒ 保育士の処遇改善については、令和6年度から取り組んでおり、少しずつではありますが、改善につながっていると考えています。もう少しできることがあると思いますので、私立園のみではなく、町立園も含めて町全体で取組みを考えていきます。
- 大磯学童は人数が多く、いつも暑さの状態でしていると聞いている。特に夏休み期間中は、暑すぎて外遊びができないため1日中狭い室内で過ごしており、こどものストレスが溜まるという話を聞いている。国府学童は色々とお出掛けする機会があると聞いている。数年後にはこどもを学童に通わせたいと考えているが、改善することはできないのか。
⇒ 大磯学童と国府学童では、運営する事業者が異なっています。子育て支援課に状況を確認して、改善できるよう指示しました。
- NCR跡地の現状はどうなっているのか。
⇒ NCR跡地には地下にPCB（ポリ塩化ビフェニル）を含んだ土壌が埋設保管されており、それを除去しなければ活用することができません。除去費用は数億円が掛かると言われていますが、なるべく早く除去していただかなければならないと思っています。
- NCR跡地の所有者は、固定資産税を納めているのか。
⇒ 納めています。
- NCR跡地の活用を考えなければ、町の発展はない。町が所有者にもっと積極的に働きかけないと進んでいかないのではないか。
⇒ タイミングを見計らって、所有者への働きかけを検討します。

- 日本端子(株)が撤退するが、その影響をどのように考えているのか。
 - ⇒ 日本端子(株)は近々撤退しますが、その跡地は売却する意向であるとのこと。企業などが一体的に買い取って活用していただけると良いと考えています。宅地でも良いという考えも持っていますが、工場の跡地は土壌汚染の問題から宅地には向いていないというお話もあるようです。

- NCR跡地の雑草が繁茂しており何とかしてほしい。その影響かもしれないが、住宅地にハクビシンが頻繁に出現し困っている。また、コンテナなどが置かれ物置場になっており、それらの放置により近隣住宅地へ悪影響がないか懸念している。所有者に草刈りや片付けなどの対応をお願いできないか。
 - ⇒ 雑草の繁茂については、火災の恐れがあるという理由で消防署から所有者に草刈りなどをお願いすることはできると思います。改めて担当課に相談していただきたいと思います。

- 自治会役員の高齢化が進む中で、自治会へ加入しない理由など、若い人たちの意見を聞いてみたい。
 - ⇒ SNSなどを活用してアンケートなどを実施することも有効であると思います。担当課に検討を指示しました。

以上